



刈谷市議会議長
加藤 廣行

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。
旧年中は、市議会に対する温かいご支援、ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動と元気をもらうことができました。とりわけ、本市にゆかりのある選手をはじめとした日本人選手の活躍を目の当たりにして、私たちも市民の皆さまに元気を届けられる施策実現に向けて、全力で取り組んでまいろうと心新たにしたところです。

さて、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、市民の皆さまには感染症対策の徹底や新しい生活様式の実践、ワクチン接種へのご協力をしていただいているところです。しかしながら、世界を見渡してみますと、再び感染者が増加している地域もあり、また、国内で新たな変異株が確認されるなど、予断を許さない状況がしばらく続くものと思われまます。市議会といたしましても、市民の皆さまが安心して生活ができるよう、引き続き感染症対策に力を注いでまいります。

国においてはデジタル庁が創設されるなど、デジタル化社会に向けた流れは、より一層加速されるものと思われまます。市議会におきましても、現在、タブレット端末の導入に向けた議論を進め、ペーパーレス化や情報共有化および事務の効率化を図ることを予定しております。今後は、市民の皆さまの利便性の向上など行政サービスの充実を目指し、市との連携を深めながら、行政のデジタル化の推進に努めてまいります。

結びに、市民の皆さまのご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



謹賀新年



刈谷市長
稲垣 武



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響で日常生活が制限される中、感染防止の期待されるワクチン接種が進みました。

そのような状況において、本市とミササガ市の姉妹都市交流が40周年を迎え、また東京オリンピック・パラリンピックが開催され、57年振りとなる聖火が市内を駆け抜け、本市ゆかりの選手がメダルを獲得するなど、活躍する選手の姿が多くの市民に元気と感動を与えてくれました。

さて、本年は刈谷スマートインターチェンジが完成いたします。この完成に合わせ、隣接する刈谷ハイウェイオアシスにおいて、市制施行70周年プラス1事業としてプロジェクションマッピングの実施を予定しております。

また、3回目となる新型コロナワクチンの追加接種を関係機関と連携し円滑に進めるとともに、経済活動と感染拡大防止の両立に向けて、強い危機感を持ちながら必要な策を講じてまいりたいと考えております。

今後も皆さまが安心して元気に住み続けられ、笑顔に満ちあふれ、未来へ希望が持てるよう「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が市民の皆さまにとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



ミササガ市長
ボニー・クロンビー

メッセージの原文はこちらへ
ID 1009656

ミササガ市とミササガ市議会を代表して、新年のごあいさつを申し上げます。
ミササガ市と刈谷市は、40年以上の長きにわたり、共に活動し、考えや文化を共有しながら充実した姉妹都市関係を築いてまいりました。

私も、市長就任以来、両市の関係を更に強くすることを最優先としてまいりました。日本は、文化的にも経済的にもミササガ市にとって重要であり、ミササガ市に100以上の日本の企業があることを誇りに思っています。

2020年には稲垣市長をミササガ市にお迎えし、素晴らしい時を過ごしました。私も再び刈谷市を訪れ、稲垣市長とお会いして、私たちの友好や文化的、経済的つながりをどのように更に強くできるかについてお話しできることを楽しみにしています。

刈谷市とミササガ市は、互いに惹かれあい、40年の姉妹都市提携を通して、互いに素晴らしい発展を遂げ、更なる成長を続ける強い絆をつくり上げてきました。

刈谷市の皆さまが、喜びと繁栄、そして健康に満ちた、幸せで実り多き新年を迎えられることを願っています。